

WS
10

名著に挑戦！高階秀爾著『ルネッサンスの光と闇（上）』を読む

※ディスカッションあり

【定員】30名 【受講料】2年・1年会員ともに18,530円 聴講生20,080円

『美術』【ワークショップ】美術Ⅰ・Ⅱ 【時間】毎回13時30分～15時30分（計12回）

概要

美術史の巨星であった高階秀爾氏を偲んでその名著の一つを皆さんで輪読します。面白かった部分や難しいところを話し合いながらイタリア・ルネサンス美術の地下水脈に触れることを目指します。なおテキスト（中公文庫で990円。一冊本であった旧版古書でも可）は各自ご用意ください。

回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/11(金)	新百合21ビル B2 第2会議室	オリエンテーション：自己紹介と輪読の割り振りなど	多摩美術大学名誉教授 諸川 春樹
2	4/18(金)		第1部「サヴォナローラ」事前講義：15世紀後半フィレンツェの状況	
3	5/9(金)		第1・2・3章：15世紀末の終末論	
4	5/23(金)		第4・5章：ポッティチェリと終末論	
5	5/30(金)		第2部「メランコリア」事前講義：メディチ家とプラトン哲学	
6	6/6(金)		第6・7章：芸術庇護の問題	
7	6/13(金)		第8・9章：四性論と美術	
8	6/20(金)		第10章：考える人	
9	6/27(金)		第3部「愛と美」事前講義：ギリシャ・ローマ神話と美術	
10	7/11(金)		第11・12章：三美神の表現	
11	7/18(金)		第13章：さまざまなキューピッド表現	
12	7/25(金)		まとめ：ルネッサンスの光と闇とは何か	